

地図を持って観察に行こう 三川合流

日時：2022年4月10日（日）

集合：京阪石清水八幡宮駅前集合 10時

場所：三川合流かわきた公園地区

天気：晴れ、最高気温 27℃、時折吹く乾いた風が心地よい

参加者：15名（会員限定）

解散：14:35 かわきた自然運動公園東端

参加者の最終確認のため 10:20 出発、御幸橋）を経て、かわきた公園を西へ。八幡背割堤の桜並木はほぼ葉桜のため、一般客は少ないが、他の自然観察団体が数団体、自転車が多数。

出発が遅れ、お目当ての春の野草も見応えがあったためさらに遅れて、かわきた地区の半ばで 12:20 昼食休憩。13 時出発でさらに西（下流）を目指したが、時間的な制約と、暑さで少々バテ気味の者が続出したため、13:25 対岸に木津川と宇治川の見える合流地点付近で引き返した。



セイヨウカラシナ



タンポポ sp.



しっかり観察中

ほぼ平坦なコースで駅から片道 4 km 未満だが、友の会では、後追いとタイムキーパーが重要な役割を占める。植物種は、動物（鳥）散布、風散布、水流散布、人為的移入などで分けて見るのもおもしろい。



アケビ



オドリコソウ

生物リスト

(順不同、植物特に樹木は全く不完全です)

(1) 野鳥 (S: 鳴き声のみ、P: つがい)

ウグイス S、スズメ、チュウダイサギ (亜種)、シジュウカラ S、オオバン、ホオジロ S、ツグミ、キジ S、イカル S、ツバメ、メジロ S、カワウ、アオジ、ムクドリ S、カラス属 sp.、ヨシガモ P、トビ、エナガ、カルガモ、ヒドリガモ P、ヒヨドリ



ヒゲナガガ sp.

(2) 昆虫・爬虫類・両生類など

ナミアゲハ、ナナホシテントウ (成虫、蛹)、タイワンタケクマバチ、コガタルリハムシ (幼虫)、ヒラタアブ sp. (蛹)、ベニシジミ、アブラムシ sp. (ニワトコ)、アワフキムシ sp. (ニワトコ)、モンシロチョウ、キチョウ、モンキチョウ、オオカマキリ (古い卵囊)、ヒゲナガガ sp.、ナミアゲハ、フタモンアシナガバチ、ツチイナゴ、クビキリギス、ヒシバッタ、キリギリス科 (幼虫) オオケマイマイ (殻多数)、ニッポンマイマイ sp. ? (殻)、アカミミガメ sp.、アマガエル S、



タイワンタケクマバチ

(3) 植物

【開花】: カンサイタンポポ、セイヨウタンポポ (+ 雑種)、セイヨウカラシナ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、オドリコソウ、カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ、ナヨクサフジ、カキドオシ、キランソウ、クサイチゴ、アケビ、クサノオウ、ハコベ、ウシハコベ、ツルニチニチソウ、ヤブヘビイチゴ、フラサバソウ、カテンソウ

【開花と結実】 ムラサキケマン、シシウド

【結実】: ニワトコ、ナワシログミ、ヤマネコノメソウ

ヤブカラシ、イタドリ、キヅタ、スギナ、ギシギシ、アカメガシワ、ヤブニッケイ、サネカズラ、シュロ、クコ、トウネズミモチ、イラクサ、ミカン科 sp.、マダケ、ヤナギ sp.、シャクチリソバ、シダ

報告者: 伴 浩治



ムラサキケマン



アカメガシワ



シシウド



カワウとカメの甲羅干し



カテンソウ



アワフキムシ



シロヤブケマン



木陰で昼食



ヤマネコノメソウ